

地域密着型サービス（ ひにもりフィットネス ） 議事録 【第 2 回】			
日 時	2024 年 8 月 28 日（水） 17：30 ～ 18：30	場 所	ひにもりフィットネス機能訓練室
利用者	地域代表	地域包括支援センター	事業所管理者
利用者家族(欠席)	知見を有するもの	市職員	事業所職員
■ 議題		■ 議事内容	
1. 活動状況 ○登録者数（市内・市外・合計） ○要介護度別利用者状況 ○活動内容 2. 活動状況の評価 3. 出席者からの要望・助言		1. 活動状況 ・登録者数 85 名（市内 62 名 市外 23 名） ・要介護度別利用者状況 事業対象者 4 名 要支援 1 11 名 要支援 2 15 名 要介護 1 30 名 要介護 2 20 名 要介護 3 5 名 ・活動内容 「ひにひにもりもり、ご利用者様に元気に笑顔にな ってほしい」をコンセプトに運営を行っています。 半日型の機能訓練型デイサービスとして、午前・午 後の 2 部制で月～土曜日に営業。 定員は各部 10 名です。 職員は 8 名、毎日 3～4 名が勤務しています。 （間に半日の流れの説明） 運動は、マシントレーニング、マット体操、座位体 操がメインで、その他にも昇降運動・滑車運動・自 転車運動なども身体状況や目標などによって取り入 れています。 運動の合間には水分補給や、会話を楽しんでもら う時間もあり、お好きな方にはマッサージチェアな どのリラクゼーション器具で身体を休めていただい ています。 3 月運営推進会議時点の稼働率は 65%、現在は 80% となっています。 欠席された方には振替利用も勧めています。 2. 3. 活動状況の評価、皆様からの要望・助言 利用者：近いので歩いて通えること、欠席しても振替利 用ができることが良いと思っています。足の運 動が多いので自分に合っていると感じます。 10 人の定員も丁度いい。もう少し広さがあると	

いいですね。

↳10人以上受け入れられる面積がありますが、準備体操などで広がると狭く感じることもあります。看護師配置の問題や、運動内容の再検討が必要になることもあり定員をすぐに変更することは難しいと考えています。

地域代表：どのくらいの年代の方が通われていますか。

↳若い方は60代から通われ、80代の方が一番多く、100歳近い方も来られています。

送迎を組む際は工夫が必要だと思いますがどのような基準で受け入れを行っていますか。

↳新規の方の希望曜日と時間を伺い、現在の送迎ルートに組み込むことができるか確認します。午前と午後の間の時間があまりないので30分を目安にお迎えできるようにしています。歩行器使用の人数や3列目へ乗車可能かも受け入れが出来るかに関係してきます。

ただ通うのではなく、評価、個々の状態や運動の成果の確認は必要と考えますが、どのようにされていますか。

↳日頃の会話の中から状態の変化や困りごとがないかをキャッチできるようコミュニケーションを心がけており、それを運動に反映することもあります。適宜体力測定を行うことで一緒に成果を確認しています。要介護の方は居宅訪問にて生活状況を確認させていただき、評価や計画を行います。

市職員：先日運営指導がありましたが、健全な運営をされており、大きな指摘事項もありませんでした。介護度の高い方の受け入れをされている事業所では、週の利用回数が多い分、利用中止となった際に稼働率に大きく影響することがあります。比較的軽度の方を対象とされていることで現在の稼働率を維持されていると思います。訪問看護の事業所は増加傾向にあるので、定員増の場合は連携できる所もあるのではないのでしょうか。

市から、ハラスメント研修等の開催・お知らせをさせていただきます。ZOOMでも参加できますので是非ご検討ください。

地域包括：直近の一番大きな事故を教えてください。

↳転倒や通院が必要な事故はありませんでしたが、送迎車の3列目からご利用様が降車時にまだ手摺を掴んでいるタイミングで職員がスライドドアを動かしてしまい、ドアの淵が腕に接触したことがありました。

発災後のご利用者様の安全確保や、帰宅後一人

で生活を送ることができるか、家族が迎えに来るまでの間はどうか、備蓄品についてなど、非常時の対応については考えておく必要があります。

緊急時の連絡の取り方ですが、派遣の場合会社を通す必要があることも。職員は直接雇用ですか。

「BCP」を策定しており、先日研修も実施しました。

職員は全員直接雇用です。職員・ご利用者様共に緊急連絡一覧を作成しています。

感染症については感染症毎にマニュアルを下げておき、直ぐに確認ができるようにすることもいいと思います。

有識者：送迎の組み方によっては受け入れに影響し、枠があるのに新規の方を受けられない状況になることもあります。うまく調整されていると思います。

看護師を雇用することが難しければ、訪問看護事業所との連携も検討するといいいと思います。

管理者：ご利用者様が努力され、身体機能が向上することで介護保険の卒業に至る方がいます。とても素晴らしいことなのですが、卒業後の運動の継続については不安の声も聞かれます。

自宅用の運動は、一人で継続することが難しい方もいると思います。

地域との連携を図り、ご利用者様の不安を解消できるような場所や手段があれば教えていただきたい。

「(出席者の皆様より)現在はいきいきサロン、きんもくせいなど地域の方が通うことのできる場所があります。

ただ、これまでのような運動の継続とは少し異なると思います。

集客やテナントの問題もあり、新たな通える場所の発掘が難しい状況です。土曜日の営業がない事業所はそこで地域の為になることを行いたいと検討されている所もあります。ひにもりフィットネスでも卒業後に通える新しい形態の事業や、場所の提供などを検討していただけると、引き続きご利用者様との関りを持つことができますし、卒業後の安心、地域貢献にも繋がるのではないかと思います。

職員：今の状況を当たり前と思わず、ご利用者様の些細な訴えも取りこぼさない様、引き続き精進していきたい。

次回開催予定：R7.2 頃を予定